

幼小中つながる通信 vol.82

発行：令和 2 年 11 月 2 日 袋井市教育委員会

幼児期から英語に「慣れ親しむ」



「うさぎは英語でなんて言うの？」「『Rabbit』だよ。」「じゃあねこは？」子どもたちの興味は尽きません(あさば保育園)



アメリカ出身のジョンさん

市内全園で「Hello！」

英語力の向上

本市では幼小中一貫教育を通して、小中学生の英語力向上を目指し、幼児期から英語に「慣れ親しむ」ための取組を実施しています。その取組が市役所総務部と教育委員会が共同で実施している「ハローイングリッシュ」。

総務部国際課に所属する国際交流員のジョンさんとレイチェルさんが、市内の保育園、保育所、幼稚園、こども園を訪れ、歌や遊びを通して身近な英語に触れる機会をつくっています。対象は年長児。市内の公立、私立を問わず、ジョンさんとレイチェルさんが各園を訪問します。

身に付いた英語力を試す

文部科学省は、英語の授業を小学校 3 年生から行うことを定めていますが、本市では、幼児期からの「英語への慣れ親しみ」を土台に、小学校 1 年生から短時間の英語の時間を設定し、実施しています。幼小中を通じて身に付けた英語力を試そうと、本市独自で実施している※英検チャレンジには、ここ数年、約 600 名近い小中学生が挑戦しています。

英検チャレンジ 市内在住の小中学生を対象に、検定費用を軽減して英語検定を受検できる本市独自の事業です。



～10月3日(土)実施 小学生受検会場～
今年約 140 名の小学生が挑戦しました

